

<http://home.kobe-u.com/kinki-sha/>

近畿学校保健学会通信

No.140

平成27年3月6日発行
近畿学校保健学会事務局
〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1
関西福祉科学大学 大川研究室
TEL&FAX : 072-947-1307
Mail : kinkigakkohokengakkai@yahoo.co.jp
振込口座 00940-5-181826

目 次

虎谷良雄先生を偲んで 2
上延富久治先生を偲んで 2
林正先生を偲んで 3
第62回近畿学校保健学会開催要項 4
第3回研修セミナー報告 10
第2回幹事会議事録 12

会費納入と会員勧誘についてのお願い

今年も年度末となりました。本学会は会員の皆様の年会費を主な財源として運営しております。平成26年度の会費（3,000円）をまだ納めておられない方は、振込用紙を同封させていただいておりますので、早急にお振込み下さいますようお願いいたします。

また、会員の皆様には、周囲の方々に本学会への入会をお勧め下さいますようお願い申し上げます。なお、入会案内パンフレットおよび入会申し込み用紙は、ホームページからダウンロード出来ますので、よろしくお願い申し上げます。

虎谷良雄先生のご逝去を悼む

本学会名誉会員の虎谷良雄先生が、平成26年6月18日に逝去されました。享年89歳でした。

先生は、昭和23年大阪大学医学専門部（現 大阪大学医学部）をご卒業後、和歌山県立医科大学で内科の研鑽をされ、公立病院院長などを歴任され昭和36年から和歌山市において虎谷医院を開業されておられます。

先生は、和歌山市および県医師会で活躍され、特に、学校医活動に関して長年、県医師会担当理事として活躍されました（昭和55年～平成4年）。同時に、和歌山県学校医会長としても長くお勤めになり、県の学校医の活動の活性化に努められました（昭和59年～平成4年）。この間のご業績が認められ、平成3年には和歌山県教育功労賞（学校保健）、平成4年には和歌山県学校保健功労表彰（学校保健）、平成6年には日本医師会長表彰（学校保健）の栄を受けられておられます。

本学会に対しても、永年評議員、幹事をお勤めになり、特に和歌山で開催された、昭和50年（第22回）から昭和62年（第34回）近畿学校保健学会においては、和歌山県の学校医を代表する立場から積極的に関与され、学会企画・運営に中心的な役割を果たされました。また自らも、学校医の職務執行をめぐっての問題を本学会でご発表になり、多大な貢献をされました。

このように、先生は永年にわたって、開業医として地域医療に貢献する傍ら、学校医として範を示しながら和歌山県の学校医の資質向上と活動の活性化に半生を捧げられました。

ここに先生の永年のご貢献に感謝申し上げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

（近畿学校保健学会幹事・和歌山県立医科大学教授 宮下 和久）

上延富久治先生のご逝去を悼む

平成26年9月10日に近畿学校保健学会名誉会員（大阪教育大学名誉教授）上延富久治先生が、ご逝去されました。享年83歳でした。

上延先生は昭和30年6月に大阪学芸大学教育学部（理科・保健専攻）：現大阪教育大学を卒業されました。ご卒業後吹田市立第二中学校教諭として勤務され、昭和36年4月には、大阪学芸大学に助手として奉職されました。当時の大阪学芸大学には、免疫学、細菌学の基礎医学そして社会医学の錚錚たる教授陣がおられ、その中の榊原栄一先生に師事され、衛生学および免疫学の研究を精力的に行われました。そして昭和40年2月には、東京女子医科大学から医学博士の称号を授与されました。昭和41年4月からは、養護教諭養成所の助教授になられ、養護教諭の養成に尽力されました。昭和54年4月に教授に昇進され、小学校教員養成課程の学生および保健体育専攻の大学院生の指導にあたられました。この間平成9年に定年退職されるまで、数多くの教育者そして研究者を育てられました。

上延先生の研究業績は、抗変異原作用を有する物質に関する研究、抗体動員物質の本体に関する研究および学校保健学に関する研究と大きく3つに分類することが出来ます。学校保健学に関

するものとしては、幼児の清潔習慣に関する研究および学校管理下における事故災害に関する研究があげられ、これらは学校保健研究に掲載されました。

近畿学校保健学会では、評議員および幹事を歴任され、大阪府の代表幹事および選挙管理委員会委員長も務められ、学会発展のためにご尽力されました。

上延先生は、我々後輩がミスを犯しても、決して叱責されるような事はなされず、いつも暖かく見守って下さいました。先生から賜りましたご厚情に感謝して、心からご冥福をお祈り申し上げます。

(近畿学校保健学会幹事長・大阪教育大学教授 白石 龍生)

林正先生のご逝去を悼む

平成26年12月18日に近畿学校保健学会名誉会員（滋賀大学名誉教授）林正先生が、ご逝去されました。享年79歳でした。

林先生は、昭和33年3月に京都学芸大学（健康学専攻）：現京都教育大学を卒業されました。ご卒業後は、京都市立山階小学校、京都市立旭丘中学校教諭として勤務されました。昭和39年からは京都府立洛北高校定時制課程教諭として勤務するとともに、京都府立医科大学衛生学教室研究生として研究に励まれ、昭和47年に京都府立医科大学から医学博士の称号を授与されました。同年4月からは滋賀大学教育学部助教授、昭和52年教授に昇進されました。

林先生は、滋賀県下の学校保健推進のため、教育現場・医師会・歯科医師会・薬剤師会・大学等が一体となり健康で文化的な学校生活の実現に寄与することを目的とした「滋賀県学校保健学会」設立の中心的役割を果たされ、その後、昭和57年から平成13年の間、会長として学校保健の発展にご尽力されました。また、昭和54年から1年間、ロンドン大学小児保健研究所で発育発達や学校保健の研究に邁進され、「これを契機に子どもの発育の縦断的研究に興味を持ち、思春期発育の個人差理解や健康教育との関連に関心を持つようになった」と述べておられました。第33回近畿学校保健学会では、ロンドン大学からTanner教授を招聘され、「学童の成熟速度における個人差の重要性について」の講演を拝聴する機会を得ることができたことは、今も印象に残っているものであります。さらに、附属養護学校の校長として、大学院修士課程の設立、保健管理センター所長としても精力的に活動されました。

近畿学校保健学会では、評議員及び幹事を歴任され、第33回、39回の学会会長を務められ、さらに、平成4年からの4年間、幹事長として学会発展のためにご尽力されました。

林先生は、自らの仕事や研究には厳しく、我々後輩を育てるためには温かくご指導下さいました。先生から賜りましたご厚情に感謝し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

(近畿学校保健学会幹事・びわこ成蹊大学准教授 谷川 尚己)

第 62 回近畿学校保健学会開催要項

第 62 回近畿学校保健学会会長 高橋裕子
奈良女子大学・大学院教授

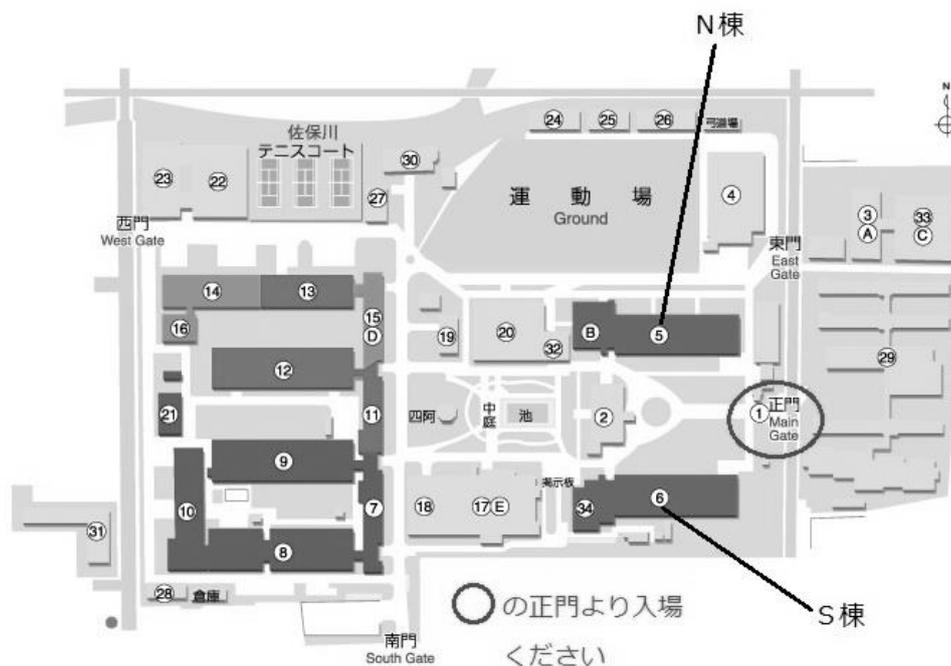
第 62 回近畿学校保健学会を、下記の通り開催いたします。学会では、学校現場などでの実践報告も歓迎いたします。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

1. 学会テーマ 「伝えることと、伝わること」

2. 会場 奈良女子大学 N棟・S棟

(<http://www.nara-wu.ac.jp/campus.html> でご確認ください。)

〒630-8506 奈良市北魚屋西町 (近鉄奈良駅より徒歩 5 分, JR 奈良駅より徒歩 15 分)



3. 日時, 内容 平成 27 年 6 月 27 日 (土) 9:00 (受付) 9:30~17:10 (予定)

午前 一般演題

昼食 ランチョンセミナー (ファイザー株式会社共催)
「禁煙を通して見えた伝えることと、伝わること」 学会会長 高橋 裕子

午後 評議員会, 総会

特別講演: 「伝えることと、伝わること」

講師 北折 一 (NHK 「ためしてガッテン」 元専任ディレクター)

教育講演: 「世界一受けたい授業」 (仮)

講師 岡崎好秀 (モンゴル医科大学教授)

4. 一般演題申込, 抄録作成

演題は、平成27年4月17日(金)までに、第62回近畿学校保健学会事務局までお申込みください。一般演題発表者は、共同研究者を含め正会員であることが必要です。会員でない方は、事前に入会手続きを行ってください。抄録は、平成27年5月15日(金)までに、A4サイズ1枚で作成し、第62回学会事務局宛、メールでお送りください。

[Eメール送付先：62ksha@jcom.zaq.ne.jp]

締め切り	
演題申込	4月17日(金)
抄録締切	5月15日(金)
事前申込	6月13日(土)

5. 参加申込, 参加費

・学会正会員（但し、平成27年度会費納入者）	1,000円
・当日会員（学会員ではない場合）	2,000円
・大学院生	1,000円
・学部学生（抄録集は有料：500円となります）	無料

※参加費は学会当日、会場でお支払いください。

※学会員でも、年度会費の納入がない場合は当日会員扱いとなり、参加費は2,000円となります。

※近畿学校保健学会の会員ではなくても、また事前申込みをされていなくても、当日会員として参加できます。

6. 昼食

ランチョンセミナーにてお弁当を用意していますが、数に限りがあります。弁当の配布は、事前申込の方を優先にします。ランチョンセミナーを受講されない方は、学内の食堂、あるいは大学周辺の喫茶店、レストラン等にて各自で対応をお願いします。

7. 懇親会

6月27日(土)の学会終了後、17時30分より、奈良女子大学内にて開催いたします（参加費：4,000円）。参加申し込みは平成27年6月13日(土)までをお願いします。当日受付も可能です。ぜひご参加ください。

8. 様式等ダウンロード

演題申込書（別紙1）、抄録様式（別紙2）、事前参加申込書（別紙3）は下記よりダウンロードできます。

URL：<http://members2.jcom.home.ne.jp/hans.ageo/62ksha/>

9. 演題申込・問い合わせ先

事務局

〒362-0022 埼玉県上尾市瓦葺 1248-22

株式会社 HANS 内 第62回近畿学校保健学会事務局

電話/FAX：048-722-5016 E-mail：62ksha@jcom.zaq.ne.jp

演題発表・抄録原稿の作成要項

1. 演題申込

別紙1の演題申込用紙を学会ホームページ

<http://members2.jcom.home.ne.jp/hans.ageo/62ksha/>よりダウンロードし、必要事項を記入の上、平成27年4月17日(金)までに、Eメールでお申込ください。

締め切り

演題申込	4月17日(金)
抄録締切	5月15日(金)
PPT提出	6月13日(土)

2. 抄録原稿作成要項

抄録用原稿は、各自下記の要項にしたがって作成し、平成27年5月15日(金)までに、Eメールに添付してお送りください。必要に応じて、別紙2の「原稿見本」をご利用ください。

- ・抄録原稿は、原則として、Microsoft Wordでご執筆ください。
- ・様式は、A4用紙1ページで、上下3mm、左右25mmの余白枠を超えないようにお願いします。
- ・演題名は、中央に配置して、文字は12ポイントで強調文字にしてください。
- ・一行空けて、発表者氏名、共同研究者氏名、所属を右寄せにして、10ポイントで記入してください。発表者名の前に○印をつけてください。
- ・一行空けて、キーワードを3～5個、左寄せにして10ポイントで記入してください。
- ・改行して本文となります。本文は10ポイントで2段に分け、1段当たり1行24字で、中央は3字空けて40行で収めてください。書体は、明朝体またはゴシックをお願いします。
- ・本文では、研究・実践目的、研究・実践方法、研究・実践結果および考察を明確に簡潔に記述ください。必要があれば収まる範囲で、図表を入れてください。
- ・抄録原稿の締め切りは、平成27年5月15日(金)までにEメールをお願いします。
- ・添付ファイルにて、ファイル名「発表者名」(例えば、奈良太郎)として添付し、件名は「抄録原稿」として送信してください。[Eメール送付先：62ksha@jcom.zaq.ne.jp]]

3. 発表時刻等のお知らせ

抄録原稿をいただいた後、Eメールでお知らせします。

4. 発表についての留意事項

- ・発表は、1演題につき、発表時間10分、質疑応答時間4分を予定しています。
- ・学会当日は、パワーポイント用のプロジェクター、コンピューターを準備いたします。
- ・使用機器等は、原則として、Windows対応のパソコンを使用します。パワーポイントはMS Office2003～2007、2010のみ対応です。発表用パワーポイントファイルは、平成27年6月13日(土)までに学会事務局までメールでお送りください。ただし、ファイル容量が5MBを超える場合には、CD等で郵送してください。
- ・PCを持参して発表される場合、プロジェクターとの接続ケーブルをご用意ください。プロジェクターはVGA(15ピン)のみ対応です。HDMI等には対応していません。
- ・動画の使用は、原則として、禁止します(要相談)。
- ・資料配布される場合は70部をご用意ください。

5. 問い合わせ先：第62回近畿学校保健学会事務局

不明な点などございましたら、下記にお問い合わせください。

〒362-0022 埼玉県上尾市瓦葺 1248-22

株式会社 HANS 内 第62回近畿学校保健学会事務局

電話/FAX：048-722-5016 E-mail：62ksha@jcom.zaq.ne.jp

一般演題発表者は、共同発表者を含めて、正会員であることが必要です。

会員でない方は、学会当日、年会費3,000円を学会事務局においてお支払いいただくか、下記郵便口座にお振り込みください。(第62回事務局とは異なります。)

加入者：近畿学校保健学会	加入者番号：00940-5-181826
〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘 3-11-1 関西福祉科学大学 大川研究室	
近畿学校保健学会事務局	TEL&FAX：072-947-1307

別紙 1

※本用紙は、下記学会ホームページの「第62回近畿学校保健学会のご案内」からもダウンロードできます。 URL : <http://members2.jcom.home.ne.jp/hans.ageo/62ksha/>
 ※一般演題発表者は、共同研究者を含め、正会員である必要があります。

第62回近畿学校保健学会演題申込用紙

演題名
発表者指名, 共同発表者氏名, 所属 (連名のときは発表者名の前に○印, 新入会員には*印)
連絡先住所 〒 氏名 E-mail アドレス TEL&FAX
発表要旨 (100字程度)
◎「第62回近畿学校保健学 奨励賞」受賞資格 (一般演題の筆頭者で40歳未満とする。ただし、学生、大学院生は年齢を問いません。) を有しています。 () 【該当する場合は () 内に○をつけてください。】

注意事項

1. 演題締切: 平成27年4月17日(金) (必着)
2. 申込用紙送付先: E-mail : 62ksha@jcom.zaq.ne.jp
3. 申込み用紙は、学会ホームページからダウンロードするか、本用紙をコピーして使用してください。
4. 記載事項の訂正はできませんのでご了承ください。
5. 学会奨励賞に該当する方は、ご記入ください。
6. その他については、開催要項をご覧ください。
7. 抄録原稿は、作成要項に従い作成の上、Eメール添付で送ってください。
抄録原稿の締切は、平成27年5月15日(金)です。

事務局使用欄

受付番号
 抄録原稿受付日: 月 日
 発表時間 : 6月27日 時 分から 時 分まで (会場)
 発表時間連絡 : 月 日

別紙2 抄録様式

上余白 30mm

※本用紙は、下記学会ホームページの「第62回近畿学校保健学会のご案内」からもダウンロードできます。 URL : <http://members2.jcom.home.ne.jp/hans.ageo/62ksha/>
※不要箇所を削除し、様式を整えてお使いください。

演題名 (12ポイント, 中央, 強調文字)

○発表者氏名, 共同発表者氏名, 所属 (10ポイント, 右寄せ)

【記入例】 ○奈良太郎¹⁾, 飛鳥花子²⁾

1) 奈良科学大学 2) なら町サテライト

左余白 25mm

キーワード (3~5個, 10ポイント, 左寄せ)

右余白 25mm

本文 (2段組, 10ポイント, 1段あたり40行, 1行24文字)

【目的】

【方法】

【結果】

【考察】

- ・原稿は、A4用紙1ページで、上下30mm、左右25mm
- ・演題名：中央に配置して、文字は12ポイントで強調文字
- ・1行空けて、発表者氏名、共同研究者氏名、所属を右寄せにして、10ポイント、発表者名の前に○印
- ・1行空けて、キーワードを3~5個、左寄せにして10ポイント
- ・1行空けて、本文
本文は10ポイントで2段組、1段当たり40行、1行24字、中央は3文字空ける
書体は、明朝体またはゴシック
- ・本文では、研究・実践目的、研究・実践方法、研究・実践結果および考察を明確に簡潔に記述
- ・抄録原稿の締切は、平成27年5月15日(金)

下余白 30mm

別紙3

※本用紙は、下記学会ホームページの「第62回近畿学校保健学会のご案内」からもダウンロードできます。 URL : <http://members2.jcom.home.ne.jp/hans.ageo/62ksha/>

第62回近畿学校保健学会 事前参加申込書

平成27年 月 日申込

◎学会、懇親会ご参加の場合には、該当欄に○印をつけてください。

氏名	所属	会員・学生等	学会参加	ランチョン参加	懇親会参加
		正会員 当日会員 大学院生 学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学生			

◎申込締切：平成27年6月13日(土)

E-mail 添付で、第62回近畿学校保健学会事務局にお申込みください。

E-mail : 62ksha@jcom.zaq.ne.jp

◎お問合せ先

事務局

〒362-0022 埼玉県上尾市瓦葺 1248-22

株式会社 HANS 内 第62回近畿学校保健学会事務局

電話/Fax : 048-722-5016

E-mail : 62ksha@jcom.zaq.ne.jp

第3回研修セミナー報告

テーマ ～ 麻薬取締の現場と教育をつなぐ ～

近畿学校保健学会ではこれまで2回に亘って研究の進め方を中心に学会活性化のためのセミナーを開催してきました。本年度は、昨今ニュースでたびたび報道される機会の多かった危険ドラッグを取り上げ、「麻薬取締の現場と教育をつなぐ」をテーマとしてセミナーを開催しました。幸いにも近畿厚生局麻薬取締部の協力を得、平成26年12月13日（土曜日）14時～17時、近畿厚生局麻薬取締部神戸分室において、危険ドラッグ等の取締に関わっておられる麻薬取締官による講演をうかがうとともに施設見学を実施することができました。参加者の内訳は、学会員10名、非学会員20名の計30名となりました。講演は、麻薬取締や薬物乱用者の実態など実例を踏まえた内容で、特に危険ドラッグの怖さについては実際に見聞きしたことのない我々にとって極めて説得力

のあるものとなりました。講演後、危険ドラッグの実物や取調室などを見学したことで、参加者一同、教育に関わるものとして子どもたちには決して踏み入れて欲しくない世界であるという意識を共有できたと感じています。終了後のアンケートでは研修会の内容は、大部分の参加者がとても参考になったとの回答でした。学会セミナー開催に至るまでの経過の中で、企画担当者として強く実感したことは、学会セミナー開催の周知の方法についての課題です。研修会での宣伝により多くの方の参加が得られたことから積極的な宣伝が必要と実感しました。ただ、非会員の参加者からは、学会の存在を知らない、知っているが入っていないと回答した方も少なくなく、学会活性化についてどうすれば効果的なのか検討する必要性を感じました。

（鬼頭英明）



研修セミナーの風景



当日夕刻のニュースでも紹介されました

【参加者の感想】

- 薬物乱用という言葉自体、少し遠くであることのように思っていたが、思いの外自分の身近でもあり、子どもたちの身近でも起こっていることであることと感じた。
- 絶対にしてはいけないと言うことを伝える方法として、麻薬取締官の方々との連携も1つの手段だということもわかった。
- 一般的な知識しか知らなかったので、実際の麻薬取締の現場の方からの話は生徒たちに伝える上で重みがある、一言一句が心に残った。
- 実際の映像を見たり、実物のドラッグの臭いをかがせてもらったりし、改めてドラッグの危険性、悲惨さを知ることができた。保健の授業でも今日学んだことを生かしていきたい。
- 以前にも何度か麻取の方からお話を聞かせていただく機会があり、今回じっくり詳しく聴けたので学びが深まりました。実際に学校現場でどう対応したらよいか、具体的にイメージすることができました。写真や映像もインパクトがあり、あっという間の3時間でした。
- 麻薬取締の仕事がわかったこと、取り調べ室の何とも言えない臭いと暗さ、こんな部屋でもし教える子と思うと、今自分ができるところからやってみようと思った。

- 自分が関わる子から犯罪者を出さないように薬物乱用防止教育は難しいけど頑張ってやってみたい。
- 研修や相談にも乗ってもらえることを初めて知った。麻薬取締官の仕事の内容などがわかった。
- 同僚を誘ってもう一度研修を受けたい。

【参加したいと思うセミナー内容】：複数回答

- ・児童生徒の健康課題 13名 内容：アレルギー，虐待，保健教育に関わる内容
- ・養護教諭の職務 1名
- ・研究の進め方 10名（うち7名の方が学会は知っているが入会していない人）

各府県代表幹事

滋賀県：谷川 尚己	京都府：藤原 寛	大阪府：楠本 久美子
兵庫県：中村 晴信	奈良県：辻井 啓之	和歌山県：森岡 郁晴

関連学会開催日程**◇日本衛生学会（第85回学術総会）**

会長：宮下 和久（和歌山県立医科大学）

日時：平成27年3月26日（木）～28日（土）

会場：和歌山県立文化会館，ホテルアバローム紀の国 〒640-8269 和歌山市小松原通 1-1

◇日本学校保健学会（第62回学術大会）

会長：門田 新一郎（岡山大学）

日時：平成27年11月27日（金）～29日（日）

会場：岡山コンベンションセンター 〒700-0024 岡山市北区駅元町 14-1

◇日本養護教諭教育学会（第23回学術集会）

会長：松田 芳子（熊本大学）

期日：平成27年10月10日（土）～11日（日）

会場：くまもと森都心プラザ 〒860-0047 熊本市西区春日 1-14-1

編集後記

平成26年度総会において宮下前幹事長から白石新幹事長にバトンタッチされました。学会事務局も和歌山県立医科大学衛生学教室から関西福祉科学大学大川研究室に移動し、新体制となってから早半年が過ぎました。新体制では、旧体制の意思を継承しつつ、学会活動のさらなる充実を図りたいと考えています。今回お届けした学会通信には第62回の年次学会の開催案内が掲載されていますので、多くの会員の方の参加をお待ちしています。（常任幹事 後和美朝）

平成 26 年度

第 2 回近畿学校保健学会幹事会議事録

日時:平成 26 年 9 月 28 日(日)15:00~17:00

場所:大阪教育大学天王寺キャンパス

西館第 8 講義室

出席者:【幹事長】白石

【常任幹事】大川, 笠次, 後和

【幹事】(滋賀)板持, 谷川

(京都)藤原

(大阪)北口, 楠本, 平田

(兵庫)西岡, 春木

(奈良)辻井

(和歌山)武田, 宮下, 森岡

(計 16 名敬称略・順不同)

欠席者:井上, 大平, 川畑, 鬼頭, 下村, 高野,

高橋, 中村, 守谷, 吉岡

(計 10 名敬称略・順不同)

開会に際し, 去る 9 月 10 日に 83 歳で亡くなられた名誉会員の上延富久治先生(大阪)に対して黙祷を捧げ, 学会通信に追悼文を掲載することが了承された。また, 新幹事長より就任の挨拶があり, その中で常任幹事の紹介と職務分担が説明され, 了承された。

職務分担は以下のとおり。

常任幹事の職務分担について

後和(大阪):広報担当 学会通信発行・発送, ホームページの管理・充実

笠次(奈良):総務担当 議事録の作成, 年次総会の進行, 学校保健関係者(学校三師)への入会勧誘

鬼頭(兵庫):学会活動担当 学会活動の活性化, 学会セミナーの開催, 近畿ならではの取り組み

大川(大阪):財務担当 会費, 会員名簿の管理, 予算執行

議 題:

1. 監事の選出

役員選出規定により, 幹事長より高田恵美子先生(奈良:関西女子短期大学)および宮井信行先生(和歌山:和歌山県立医科大学)が

推薦され, 審議の結果承認された。

2. 年次学会への助成金の変更について

現在の 15 万円から 20 万円への増額について提案がなされた。その対応策として後和常任幹事から学会通信の印刷費の軽減をはかることで経費を捻出することが提案され, 審議の結果, 承認された。また, 増額措置は学会の一巡した後, すなわち平成 28 年の滋賀県の年次学会から実施することとなった。なお, 参加費は資料代として現状の 1,000 円とすることが確認された。

3. その他

・辻井幹事から年次学会開催における補助金の状況について質問があり, 各地区の現状について以下の報告がなされた。

大阪:なし, 京都:府立医大の OB 会, 地元の教育委員会, 和歌山:学校三師会から補助, 兵庫:学校薬剤師会, 滋賀:医師会・薬剤師会, 滋賀医大の OB 会など。

この事を踏まえ, 各地区学校三師の担当者宛に学会通信等を送ることが了承された。

・第 62 回近畿学校保健学会(奈良女子大学)の概要について, 辻井幹事(奈良)より提案がなされ, 了承された。

報 告:

1. 学会通信について

後和常任幹事より 139 号(10 月下旬発行)の内容について説明があった。

2. 幹事会の年次計画について

次回幹事会は平成 27 年 2 月 1 日, 年次学会開催地での幹事会は平成 27 年 5 月 16 日に奈良女子大学で開催されることになった。

3. 学会ホームページについて

後和常任幹事より委託経費の削減を検討していることが報告された。

4. 学会新企画について

査読付のオンラインジャーナルの発刊を検討していることが報告された。